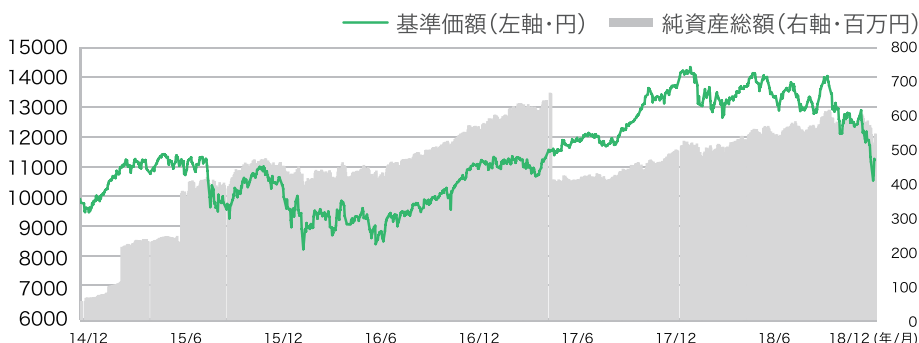


● 基準価額の推移



● ファンドのデータ

(2018年12月28日付)

基準価額	11,281円
純資産総額	545百万円

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除して
います(後述の「コモンズ30+しずぎんファンドの費用について」を
ご覧ください)。

※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の
増加により逓減する仕組みとなっており、当レポート作成
基準日現在、年率1.242%(消費税込)です。

● 分配実績(1万口あたり、税引前)

第1期 (2015年12月18日)	0円	第2期 (2016年12月19日)	0円	第3期 (2017年12月18日)	0円	第4期 (2018年12月18日)	0円
----------------------	----	----------------------	----	----------------------	----	----------------------	----

◆当ファンドは、2018/12/18に第4期の決算を迎えました。分配金は0円とさせていただきます。

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。

● ポートフォリオの構成比

	当月末	前月末比
コモンズ30ファンド (マザー)	91.8%	1.5%
静岡銀行株式	7.5%	▲0.7%
現金等・その他	0.7%	▲0.9%
構成銘柄	31社	0社

● 基準価額(税引前分配金を再投資したものととして算出)の騰落率

(2018年12月28日付)

過去1ヶ月間	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
▲11.33%	▲19.25%	▲15.73%	▲17.45%	5.34%	12.81%

※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

● 運用状況(コモンズ30マザーファンドについての記載となります)

◎12月のファンド月間リターンとその要因

12月のマザーファンドの月間リターンは、11.19%の下落、当ファンドの月間リターンは11.33%の下落となりました。

銘柄別の月間リターン上位3銘柄は、「ヤマトHD(+0.85%)」、「ユニ・チャーム(+0.14%)」、「味の素(▲0.28%)」となりました。ヤマトHDは、11月の小口貨物取扱実績が2カ月連続で前年実績を上回ったことなどが注目されました。ユニ・チャームは、好調な業績や自社株買いによる株価の下支えなどが背景にあると見られます。味の素は、アセットライト経営(資産を軽量化しつつ事業領域の選択と集中を進めること)への転換がポジティブに評価されているようです。

下位3銘柄は、「ディスコ(▲22.36%)」、「コマツ(▲22.01%)」、「東京エレクトロン(▲21.17%)」となりました。ディスコは、ハイテク株安の流れに押されたほか、半導体投資減速による需要減や、半導体最先端プロセスの稼働率低下による利益の伸び悩みなどが懸念されました。小松製作所は、米中貿易摩擦問題、中国の景気減速懸念などがネガティブ材料視されました。東京エレクトロンは、半導体関連の収益環境に対する先行き不透明感や、米半導体関連株が大きく売られたことなどが嫌気されました。

なお、ベビーファンドで直接投資している静岡銀行株式の月間騰落率は15.51%の下落でした。

シニア・アナリスト 末山 仁

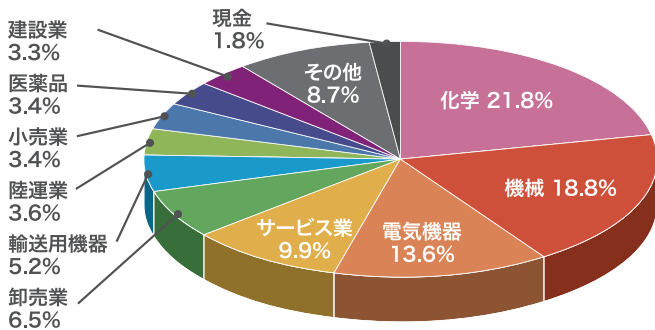
◎運用責任者メッセージ

12月の内外金融市場は、10月からの世界的な株価の下落に歯止めがかかりませんでした。12月に入り、中国大手通信メーカーのファーウェイCFOがカナダで拘束されるなど米中問題の深刻化、中国景気の減速、米国の金融政策と市場とのギャップなどの悪材料に加え、クリスマスシーズン入りで市場参加者が減少している状況が株式市場の下落に拍車をかけました。こうした環境下、国内株式市場も大きく下落しました。外部環境に不透明感が高まる中、業種別の動向をみても陸運、空運、電気・ガス、建設、食品株などの内需・ディフェンシブ関連の下落が相対的に小さくなり、鉱業、医薬品、証券、石油石炭などの下落が大きくなりました。当ファンドも10%を超える下落となりました。組入銘柄30社中2社の株価が月間騰落率でプラス、28社の株価がマイナスとなりほぼ全面安でした。一方、足下では世界的な景気減速とそれに伴う企業業績の下方修正が懸念されていますが、当ファンドの組入企業は、本質的に外部環境の変化に強い企業が多く、その影響も軽微と考えていますので、慎重な買い増しを続けて参ります。引き続き、当ファンドにご期待ください。

最高運用責任者 伊井 哲朗

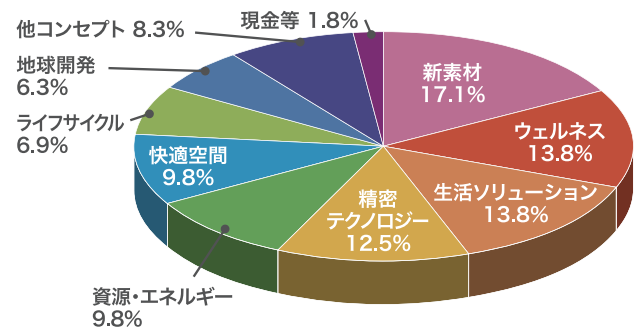
● コモンズ30マザーファンドの業種別構成比と未来コンセプト別構成比

◎業種別構成比



◎未来コンセプト別構成比

(2018年12月28日付)



- 比率は純資産総額を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

● 組入上位10銘柄 (静岡銀行株式を除く)

(2018年12月28日付)

コード	銘柄名	未来コンセプト	概要	組入比率
4063	信越化学工業	新素材	戦略的なポジショニングに優れ、素材メーカー随一の収益性	3.9%
4911	資生堂	ウェルネス	銀座も、アジアも、美しく	3.8%
8113	ユニ・チャーム	ライフサイクル	世界企業と切磋琢磨し、空白地帯で成長	3.7%
3407	旭化成	新素材	化学繊維事業から医薬・エレクトロニクス事業へ事業転換を続ける伝統企業	3.6%
9064	ヤマトHD	生活ソリューション	「クロネコヤマトの宅急便」で親しまれる宅配便業界のトップ	3.6%
6856	堀場製作所	精密テクノロジー	「おもしろおかしく」、時代に合わせて領域を拡大	3.6%
6869	シスメックス	ウェルネス	起源は音響機器、今は血球計数分野で世界No.1、成長するグローバルニッチのリーダー	3.5%
6586	マキタ	快適空間	環境、安全、安心に優れ、世界のプロに選ばれる	3.5%
6146	ディスコ	精密テクノロジー	kiru, kezuru, migaku、世界を代表する精密加工装置メーカー	3.5%
3405	クラレ	新素材	真似できないアナログ化学会社	3.4%

◎未来コンセプトとは 当ファンドが独自に行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。
 「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」

● 新規組入投資先

なし

● 今月のピック!

12月はユニ・チャームの株価が0.14%上昇しました。好調な業績や自社株買いによる株価の下支えなどが背景にあると見られます。業績は順調に推移しています。2018年12月期第3四半期累計(1-9月)のコア営業利益は前年同期比14%増の758億円です。2019年については、昨年9月に買収したベビー用および大人用の紙おむつを手がけるタイ・DSGCL社の連結化が期待されます。この買収は、注力するアジアのヘルスケア事業強化の一環で、これにより、アジアの基盤強化とともにシナジー効果による中期的なシェアアップが予想されます。2011年に買収したベトナム・ダイアナ社の実績をふまえ、買収に関するノウハウは蓄積されていると見られます。また、福岡県苅田町の新工場の竣工が見込まれるほか、デジタルマーケティングの強化、使用済み紙おむつのライフサイクルの取り組みなども今後の成長のけん引役となっていくものと思われれます。

シニア・アナリスト 上野 武昭

● こどもトラスト

こどもトラストセミナー寄付の教室～寄付月間2018公式認定企画～

こどもトラストセミナーでは毎年、寄付月間である12月に「寄付の教室」を開催しています。(寄付月間(Giving December)とは、NPO、大学、企業、行政などで寄付に係る主な関係者が幅広く集い、寄付が人々の幸せを生み出す社会をつくるために、12月1日から31日の間、協働で行う今年で4年目を迎える全国的なキャンペーン。コモンズ投信も初年度より賛同パートナー・共同事務局・推進委員を務めています。)民間学童保育ウィズダムアカデミー(同じく寄付月間賛同パートナー)の恵比寿校を会場に、今年も寄付の教室を開催し、親子9組が参加してくださいました。年長から小学校5年生までの11人のお子さんと一緒に、お金について、寄付について考え、最後には自分が選んだ寄付先と選んだ理由、そして自分がお金をもっていたら何にどう使うか、それはなぜか、を保護者の方に向けて発表しました。「お金はとてつなげたいときょうわかりました。お金のことをおしえてもらったのしかったです。」(小2 女子)「きふをしようとおもった」(小1 男子)「お金はだいじだと思った。」(小3 男子)「他の人にやくだつ」(小2 男子)「いろいろしえんできることがわかった」(小4 女子)これらはお子さんたちの参加しての感想です。



また保護者の方からは、「これまで(寄付を)深く考えず行っていたが、自分で応援したい団体や方法など、考え、自発的にするものだと思います」や「子供には少し難しいかと思いましたが、そんなことはなく、思ったよりしっかり自分の意見をもって発言できたこと、大きくなってからも忘れないでほしいと思いました」といった声をいただきました。また恒例のクリスマス会では寄付の妖精ふじぼんから、寄付つき商品のプレゼントをもらいました。何を買うかを選ぶことでも、だれかの役に立てそうだとお子さんは知ることができました。当日の様子はこちらのブログでご紹介しています。ぜひご覧ください。<https://park.common30.jp/2019/01/2018.html>

こどもトラストセミナーでは、寄付や投資というお金とのつき合い方を知ることで、お子さんたちの視野が広がる瞬間を見ることができます。そして、「だれかのためになりたい」という気持ちがお子さんたちの中には最初からあることを、わたしたち大人が改めて知る瞬間でもあります。それはお子さんたちの「未来を信じる力」に繋がる気づきの瞬間です。

マーケティング部 馬越 裕子

● ちょっといい話

【明けましておめでとうございます】

2019年がスタートしました。本年もよろしくお願ひ申し上げます。昨年も皆さまには大変お世話になりました。また、12月には当ファンドの第4期の決算を迎えることが出来ました。改めて役職員一同、心から感謝申し上げます。

昨年は、リーマンショック以降、最も世界経済が良好な状況でスタートし、株式市場も世界的に高値を更新する地域が多く見られました。日本においても、10月には日経平均株価が27年ぶりの高値を更新しました。しかし、その後は、世界的な景気減速懸念や米中貿易摩擦の激化などから世界の株価は大きく下落しました。特に、ここ数年で世界的な景気回復を享受した銘柄ほどその反動で下落が大きくなっています。

こうした環境下、当ファンドも同じように年末にかけては下落してしまい申し訳なく思っています。ただ、当ファンドは、本質的に外部環境の変化を吸収し進化を続けられる「強い企業」に投資をしていますので、一時的に業績の伸びが停滞したとしても次のステージでは必ず活躍してくると確信しています。今後の投資先企業の対応力にご期待ください。

さて、私たちは、投資には「未来を信じる力」が大切だと考えています。短期的な株価の変動に一喜一憂することなく、目線をあげて、少し先の未来を考えることでその力は育まれていきます。今年はいよいよ5月から新元号に移行し名実ともに新しい時代がはじまります。6月にはG20サミットが大阪で開催、9月にはラグビー・ワールドカップが日本で開催されます。そして2020年の東京オリパラ、2025年には大阪万博、2027年にはリニア中央新幹線が開業と続きます。今年も当ファンドを活用して、一緒に未来を信じる力を育て参りましょう。引き続き、よろしくお願ひ申し上げます。



コモンズ投信株式会社
代表取締役社長 伊井 哲朗

● コモンズ30+しずぎんファンドのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。お客さま(受益者)には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしくお願い申し上げます。なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませんので、ご注意ください。

価格変動リスク	当ファンドは実質的に国内外の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、または取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
為替変動リスクおよび カントリーリスク	外貨建資産を組入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失を生ずることがあります。また、当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、当ファンドの基準価額が大きく変動するリスクがあります。

● その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。

● 販売会社一覧

販売会社名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	日本商品先物取引協会
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金)第5号	○	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第165号	○	○	○	
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商)第10号	○			

● コモンズ30+しずぎんファンドの費用について

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.24%(消費税込)が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 ・ 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料(費用)等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

● お申込みメモ

商品分類	追加型投信/内外/株式
信託設定日	2014年12月29日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差し引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日目
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込は、翌営業日のお申込みとして取扱います。

○当資料は金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。○投資信託は設定・運用を投資信託会社が行う商品です。

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。◆投資信託の取得を希望される方は、コモンズ投信または委託会社が指定した販売会社でお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご確認くださいのうえ、ご自身の判断でお申込下さい。

金融商品取引業者
関東財務局長(金商)第2061号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
コモンズ投信株式会社
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階

委託会社お問い合わせ先

■ コールセンター (受付時間/平日 9時~17時)

03-3221-8730

■ ウェブサイト

<https://www.common30.jp/>